

防災備蓄品の見直しで
災害に備える



小山・小山ヶ丘

つながる フードドライブ



9月は防災月間です。

ご家庭の日頃の備えについて、点検しませんか？
食品ロス削減と合わせてフードドライブを実施します。



君の作戦参加が未来の地球を救う！

- 食べない食品をフードドライブへ届けよう！
- もしもに備えて食料をストック！点検しよう！



2024年

9 / 7 土 ・ 8 日

時間 午前10時～午後3時 場所 小山市民センター

ご家庭で消費しきれない食品等がございましたらぜひお持ちください。

例えばこんな食品！



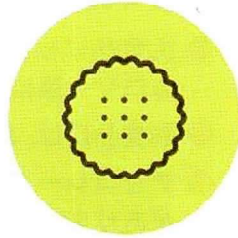
米 / 油 / 醤油 / 味噌
砂糖等の調味料



インスタント
レトルト食品



肉 / 魚 / 野菜 / 果物
などの缶詰



お菓子 / コーヒー
お茶などの嗜好品

注意事項

- × 生鮮食品・冷凍食品
- 包装は外装が破損していない物
- 未開封の物
- 賞味期限が明記されており、2ヶ月以上先の物
- 中身を他の容器等に移し替えていない物
- ※お米はのぞく



※寄付して頂いた食品はフードバンクまちだを通じて、子ども食堂や支援が必要な世帯へ届けます。

主催

ONW協議会 (小山・小山ヶ丘地区ネットワーク協議会)

フードドライブによる食品の流れ



9/7土・8日

フードドライブとは？

フードドライブとは、家庭で食べきれなくなって余っている食品を、必要としている人のために寄付をする取り組みのことです。



いどこへ避難する？

災害が起きてから慌てないために日頃から確認しておきましょう。

(避難場所、避難経路、逃げるタイミングなど)

自宅で安全確保ができている場合、自宅避難という選択もあります。

もしもに備えて食料のストックを見直してみませんか？

- ✓ 地震、風水害時の自分の避難場所を把握しましょう。
- ✓ 飲用水1人1日3リットルを目安に、飲用水と生活用水を分けて水の備蓄しましょう。
- ✓ 食料は日常の食事と同様に、栄養のバランスだけでなく味や見た目の満足感も考えて備蓄をしましょう。
 - 主食品には、米（アルファー化米やレトルトのおかゆなど）や乾パンのような腹持ちがよく、カロリー源になるものを用意しましょう。
 - 副食品には、おかずになるような缶詰、瓶詰め、レトルト食品などを用意しましょう。
 - チョコレートやキャラメルなどは栄養価が高く、疲労を回復し気分を落ち着かせてくれる効果があります。
 - 好みに合わせて、日頃から口にしているものも蓄えておくのもよいでしょう。
 - 乳幼児、病人用として粉ミルクなどを備蓄しておくのもよいでしょう。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

- ✓ 食品ロス削減と食品の有効活用
- ✓ 地域住民の環境・福祉への意識向上
- ✓ 防災月間に合わせ防災意識の向上

この活動は、SDGsの視点から災害時に地域が支え合い、助け合っていく第一歩となると考えます。

